

国際造船市場を牽引する!

積極的な国際貢献で海事産業の持続的発展につなげる

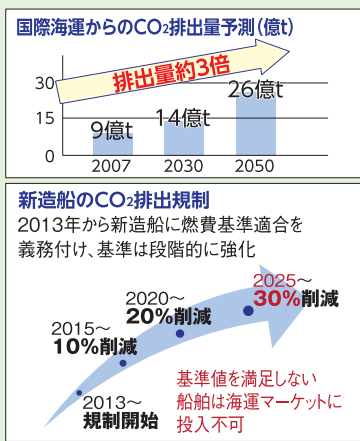
規制物質の排出国特定が困難とされている国際海運の分野においても、環境規制が強化されています。世界有数の海運・造船国日本は、革新的技術と国際基準の積極提案で世界をリードし、海洋環境問題の解決に貢献します。

国際的な規制の提案とCO₂排出削減の技術開発

新興国の経済成長などによる世界の海上貿易量の急増に伴い、国際海運が排出するCO₂は、今後飛躍的に増加すると見込まれています。現在、国連の専門機関である国際海事機関（IMO）で排出抑制策を検討しており、日本は、世界有数の海運・造船国として、この検討を主導しています。

2011年には日本の提案をもとに、船舶による環境汚染を防止するための国際規制を定めたマルポール条約が改正され、2013年1月1日以降、新たに建造される船舶に対し、燃費基準への適合が義務づけられます。これにより、国際海運が排出するCO₂の大幅な抑制が見込まれています。

国土交通省は、IMOでの検討と並行して、船舶からのCO₂排出量30%削減を世界に先駆けて達成するため、民間事業者の先進的な船舶省エネ技術の研究開発を支援しています。IMO



○で採択された新基準を先取りして対応することで、日本企業の活躍が期待されます。

天然ガス燃料船の早期実用化を目指す

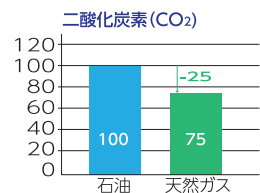
マルポール条約では、CO₂のほか、窒素酸化物（NO_x）や硫黄酸化物（SO_x）といった大気汚染物質も今後大幅に規制強化される予定です。このため、船舶燃料として一般的な重油よりも環境負荷の低い、天然ガスを燃料とする船舶（天然ガス燃料船）の実用化が世界的に期待されています。日本の海運業や造船業などの海事産業においても、実用化を目指した取り組みが始まっています。

国土交通省は、天然ガス燃料船の構造・機関などのハード面と燃料供給などのソフト面の安全基準策定や国際

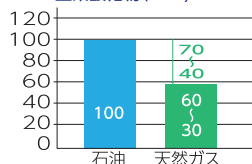
船底を泡で覆い摩擦を低減、燃費を向上させる。

非常に優れた天然ガスの環境性能

石油、天然ガスのCO₂など排出量比較



窒素酸化物 (NO_x)



硫黄酸化物 (SO_x)



IEA: Natural Gas Prospects to 2010 Natural Gas Prospects and Policies

国際競争力向上に向けて

日本は、歴史ある海洋国家として培ってきた優れた造船技術や人材、豊富な経験などを活かし、これからも海洋環境問題の解決のために国際的なリーダーシップを発揮し、積極的に貢献していきます。

また、先進的な取り組みを戦略的に展開し、日本の革新的な環境技術が主役となる新たな市場を開拓し、日本の海事産業の国際競争力の更なる向上を図ります。